

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 27日

宮崎市長 殿



提出者 ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
住 所 宮崎市清武町木原727番地
氏 名 取締役工場長 木村 偉
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0985-85-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
事業場の所在地	宮崎市清武町木原727番地
計画期間	令和6年4月1日より令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子デバイス製造業(半導体素子製造業)
②事業の規模	製品出荷額: 491億6千万円
③従業員数	1,101人(構内請負会社従業員を含む)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
別紙のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



1. 環境方針

当社は、ホームグループ環境マネジメントシステム（ISO14001）を厳守し環境保全活動を推進していきます。

2. 公害防止に関する組織及び管理体制

1 組 織

2024.6月現在

選任者等		代表取締役社長	取締役宮崎工場長	施設管理部長	施設管理部	
					宮崎施設技術グループ	部付
公害防止統括者	木村 偉作夫		●			
公害防止統括者（代理者）	高橋 辰雄			●		
公害防止管理者（水 質）	永岡 龍仁				●	
公害防止管理者（水 質：代理者）	赤川 康広				●	
公害防止管理者（大 気）	清野 将希				●	
公害防止管理者（大 気：代理者）	伊豆 裕太郎				●	
産業廃棄物処理責任者	高橋 辰雄			●		
特別管理産業廃棄物管理責任者	赤川 康広				●	
浄化槽技術管理者	永岡 龍仁				●	

2 管理体制（主務担当部門等）

項 目		防 災 対 策 本 部	施設管理部長	施設管理部	
				宮崎施設技術グループ	環境管理グループ
大気汚染防止対策	ばい煙発生施設		●	●	●
	排ガス除害施設		●	●	●
水質汚濁防止対策	排水処理施設		●	●	●
	合併処理施設		●	●	●
騒音及び振動の防止対策			●	●	●
悪臭防止対策			●	●	●
廃棄物処理対策	産業廃棄物中間処理施設		●	●	●
	保管・委託処理		●	●	●
環境緑化対策			●	●	●
防 災 対 策		●	●	●	●
事故防止等の措置		●	●	●	●
地下水の保全			●	●	●

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	排 出 量	491	5,891	120	1	12	2	4	88	1
	(これまでに実施した取組)									
	*排水の分別の細分化による汚泥発生量削減 *汚泥の脱水機改善による含水率低減 *廃プラスチックの有価売却による廃棄物削減 *金属屑の有価売却による廃棄物削減									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	排 出 量	469	5,632	115	1	11	2	4	84	1
	(今後実施する予定の取組)									
	*薬品使用量の削減による排出量削減 *脱水機の運転方法改善による脱水汚泥の低減 *排水処理の薬注量見直しによる汚泥発生量低減									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) *ISO14001推進活動で、廃棄物管理規定により発生源別分別基準により排出 *廃プラスチックの分別の細分化による有価物化 *金属屑の分別の細分化による有価物化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) *廃プラスチックの分別細分化による有価物化 *金属屑の分別の細分化による有価物化

産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) 該当なし									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 該当なし									

産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0	5104	0	0	0	0	0	0	0
①現状	(これまでに実施した取組)								
	*排水の分別の細分化による汚泥発生量削減								
	*排水処理中和剤の適正管理による汚泥発生量削減								
	*アルカリ廃液の回収中和剤利用による汚泥発生量低減								
	*工程内処理薬品の削減による排水処理中和剤使用量低減								
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0	4879	0	0	0	0	0	0	0
②計画	(今後実施する予定の取組)								
	*脱水汚泥の含水率の改善								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	排 出 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) 該当なし									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
	排 出 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 該当なし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	全処理委託量	491	787	120	1	12	2	4	88	1
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	152	787	72	1	12	2	0	80	1
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	491	783	49	0	12	2	4	88	1
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	4	71	1	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組) *再生利用・熱回収利用業者への処理委託の実施										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	全処理委託量	469	752	115	1	11	2	4	84	1
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	145	752	69	1	11	2	0	76	1
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	469	749	47	0	11	2	4	84	1
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	4	68	1	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組) *再生資源化率(セロエミ)99%以上の維持										

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
産業廃棄物の種類		廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物	合計	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
①現状(5年度実績)	排出量	491	5,891	120	1	12	2	4	88	1	6,610	
	②計画(6年度目標)	469	5,632	115	1	11	2	4	84	1	6,319	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状(5年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②計画(6年度目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状(5年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量した量	0	5,104	0	0	0	0	0	0	0	5,104	
②計画(6年度目標)	自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量する量	0	4,879	0	0	0	0	0	0	0	4,879	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項												
①現状(5年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②計画(6年度目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
①現状(5年度実績)	全処理委託量	491	787	120	1	12	2	4	88	1	1,506	
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量	152	787	72	1	12	2	0	80	1	1,107
②計画(6年度目標)	再生処理業者へ処理を委託した量	491	783	49	0	12	2	4	88	1	1,430	
	認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	4	71	1	0	0	0	0	0	76	
	全処理委託量	469	752	115	1	11	2	4	84	1	1,440	
②計画(6年度目標)	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託する量	145	752	69	1	11	2	0	76	1	1,058
	再生利用業者へ委託する量	469	749	47	0	11	2	4	84	1	1,368	
	認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	4	68	1	0	0	0	0	0	73	